

国際ライフサイクルサイエンス研究

研究代表者	総合情報学部 教授 古田 均
研究概要	現在全世界で、社会基盤設備の維持管理が焦眉の問題となっている。多くの道路、橋梁、建築物、ダム等の耐用年数が近づいており、どのように安全かつ経済的に保全していくかは緊急かつ急務の課題である。本研究プロジェクトユニットでは、画像処理、ヘルスマonitoring、ソフトコンピューティング等の先進技術及びIT技術を応用して、ライフサイクルコストの考え方を基礎に新しい総合的な方法論を開発し、現実問題に適用可能な実用的な維持管理システムの開発を、国際的な研究機関の協力のもとに行うものである。最終的には、ハード、ソフトの先端技術を統合し種々の災害に対して適応可能なシナリオ、最適政策、具体システムの構築を試みる。なお、基本データは国、地方自治体が提供してくれる予定である。
学内研究員	環境都市工学部・教授 豊福 俊英 環境都市工学部 教授 楠見 晴重 環境都市工学部 教授 坂野 昌弘 環境都市工学部 准教授 北詰 恵一 総合情報学部 教授 田中 成典 総合情報学部 教授 林 勲 (※所属・職名はプロジェクト終了時点)
学外共同研究者	米国・リーハイ大学土木工学科 教授 ダン・フランゴボール スペイン・カタロニア工科大学 教授 ホアン・カサス オーストリア・ウィーン工科大学 教授 クリスチャン・ブーハー 韓国・科学技術大学院大学 教授 チュンバン・ユン カナダ・プリティッシュコロンビア大学 准教授 トーマス・フローズ 関西大学大学院・総合情報学研究科 客員教授 福島 邦彦 (※所属・職名はプロジェクト終了時点)
設置期間	平成16年10月29日～平成20年9月30日
設置場所	高槻キャンパス管理研究棟TA311 (古田均研究室)